

島根県の地震

令和2（2020）年2月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

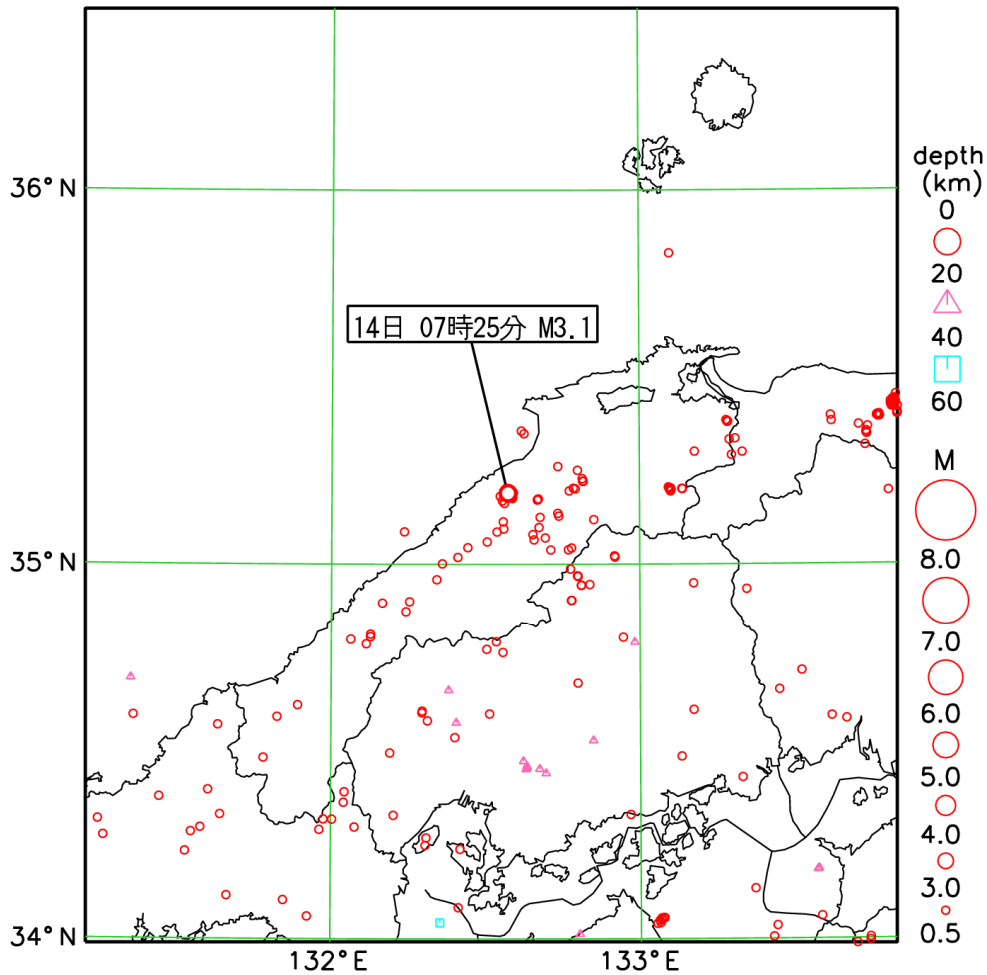
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2020年2月1日～29日

2020 02 01 00:00 -- 2020 02 29 24:00

N=269



[概況]

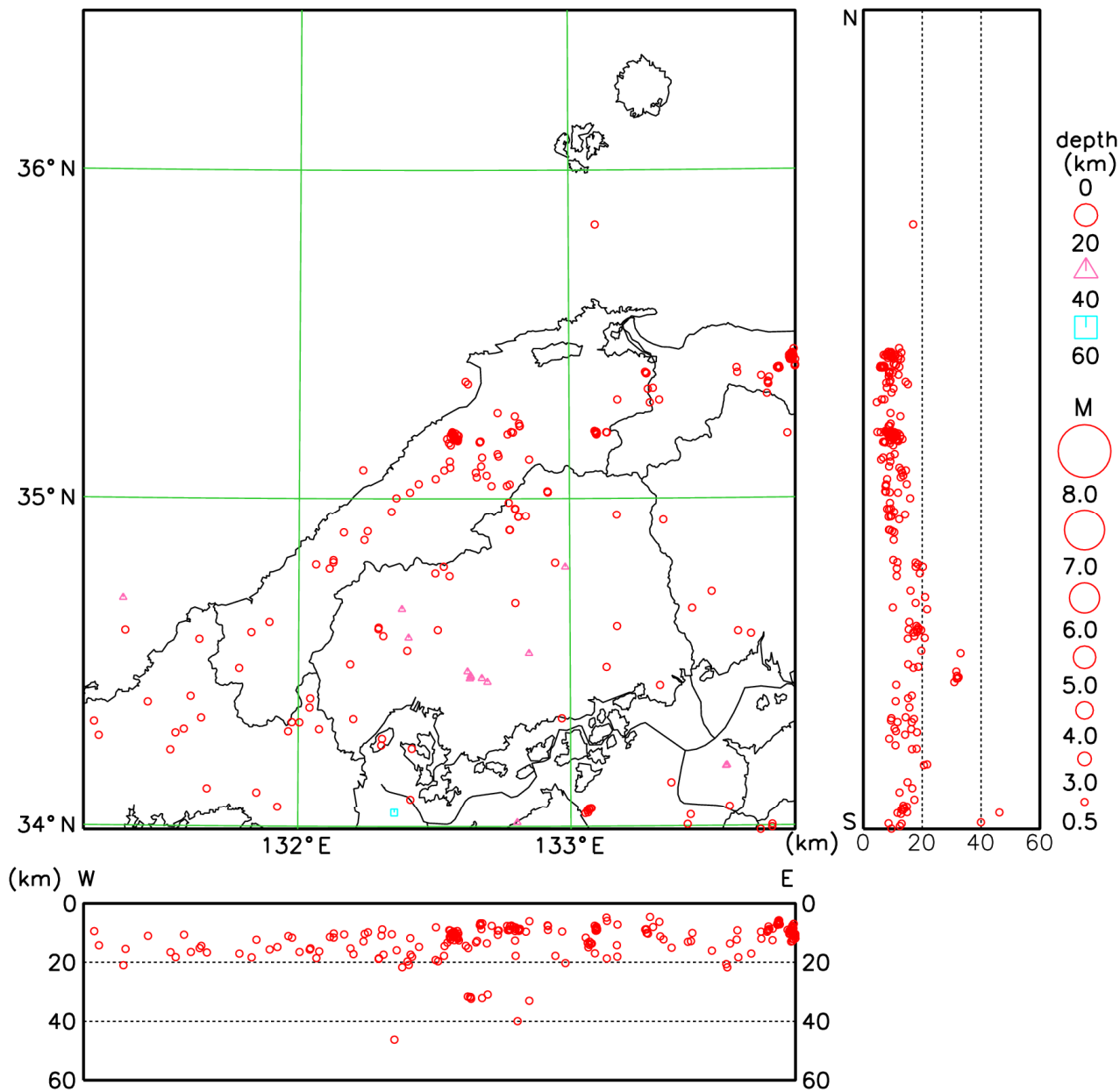
今期間、M0.5以上を観測した地震は269回（1月は253回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

14日07時25分 島根県西部の地震（深さ11km、M3.1）により、出雲市・大田市・美郷町で震度1を観測しました。

[断面図]

2020 02 01 00:00 -- 2020 02 29 24:00



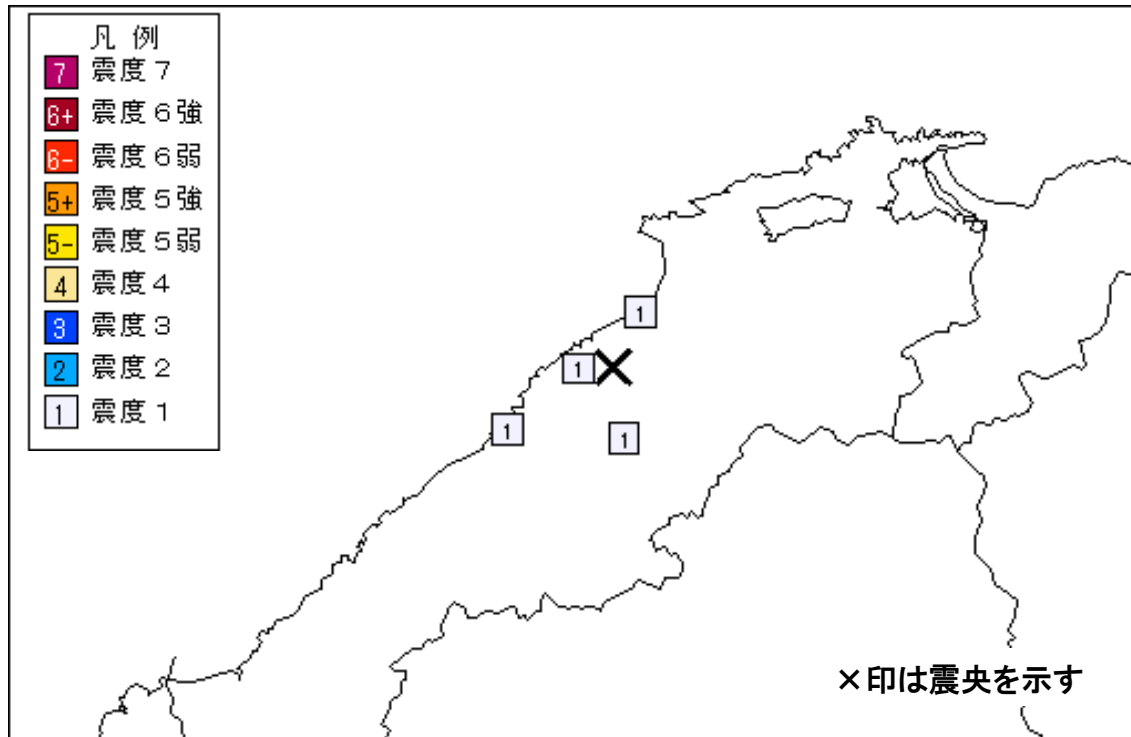
2月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2020年02月14日07時25分	島根県西部	35° 11.3 ' N	132° 34.3' E	11km	M3.1
----- 地点震度 -----					
島根県 震度 1：出雲市多伎町小田*，大田市大田町*，大田市温泉津町小浜*，島根美郷町粕淵*					

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2020年2月14日07時25分 島根県西部



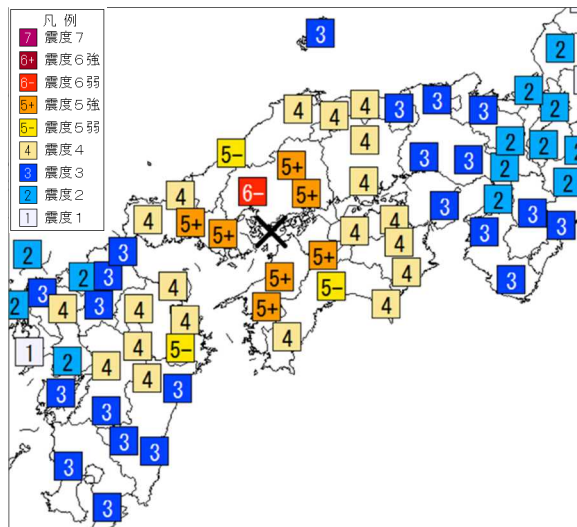
中国地方に被害をもたらした地震
～プレート内部で発生する地震～

中国地方に被害をもたらした地震には、太平洋側沖合で繰り返し発生してきたM8クラスの巨大地震(南海地震)や陸域で発生したM7クラスの大地震(「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」(M7.3)、平成28年(2016年)10月21日鳥取県中部の地震(M6.6))などがあります。また、安芸灘や伊予灘周辺では、やや深い場所(フィリピン海プレート内部)でM7クラスの被害地震が発生しており、最近では「平成13年(2001年)芸予地震」(M6.7)が発生しています。

平成13年(2001年)芸予地震は、3月24日安芸灘の深さ46kmの場所で発生し、島根県では震度5弱を観測しました。また、広島県で最大震度6弱を観測したほか、東海・北陸地方から九州地方にかけて、震度5強～1を観測しました。この地震により広島県では、死者1名、負傷者193名、家屋全壊65棟の被害が発生しました。島根県でも、軽傷者3名の他、住宅、道路、農業施設などに大きな被害が発生しています。

※被害は「日本被害地震総覧」「平成13年島根県災害年報」による。

平成13年(2001年)芸予地震



震度分布図

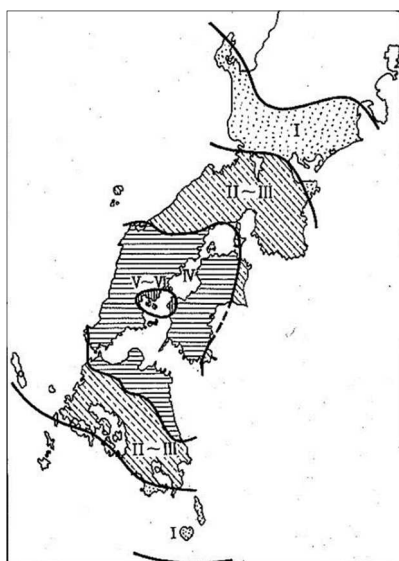


広島県道 下三永吉川線
中国新聞社提供

芸予地震は繰り返し発生しており、明治38年(1905年)6月2日にはM7.2の地震が発生し、島根県では震度4(推定)の揺れとなりました。また、広島県で最大震度6(推定)の揺れとなった他、九州から東海・北陸地方にかけて、震度5～1(推定)の揺れとなりました。この地震により広島県では、死者11名、負傷者160名、家屋倒壊56棟などの被害が発生しています。また、愛媛県や山口県でも、家屋の倒壊、堤防や橋の破損、水道管や鉄道の被害が多く発生しています。

※被害は「日本被害地震総覧」による。

明治 38 年（1905 年）芸予地震



江田島市（海軍兵学校）

広島地方気象台提供

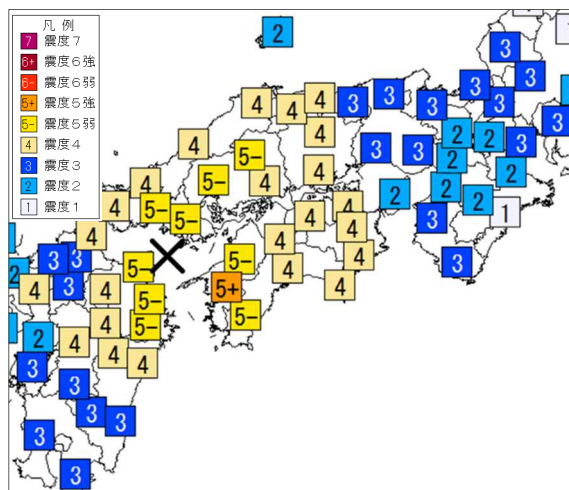
震度分布図

出典：日本被害地震総覧 599-2012

なお、令和 2 年 1 月に地震調査委員会より公表された長期評価による地震発生確率値では、安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震の平均活動間隔は約 67 年で、この領域で今後 30 年以内に地震が発生する確率は 40%程度、想定される地震の規模はM6.7～7.4 と評価されています。

2014 年 3 月 14 日には、平成 13 年(2001 年) 芸予地震の震央から南西に約 90 k m 離れた、伊予灘の深さ 78km の場所でM6.2 の地震が発生、愛媛県で震度 5 強を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて、震度 5 弱～1 を観測しました。この地震により広島県では、軽傷者 9 名、住家の一部損壊（15 棟）の被害が生じました。
※被害は「総務省消防庁災害情報」による。

平成 26 年(2014 年) 伊予灘の地震



震度分布図

各地域に被害をもたらした地震について振り返り、災害から得た教訓を学び、日頃から家具の固定、避難場所・避難経路や家庭における備蓄品（食料、水）をチェックし、突発的に発生する地震に備えておくことが大切です。

<過去の地震・津波災害>

（日本付近で発生した主な被害地震（平成8年以降））

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai1996-new.html>

（明治以降 1995 年までに、我が国で 100 人以上の死者・行方不明者を出した地震・津波）

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai-1995.html>